

### 第32期 2022 年度(令和4年年度) 入学式式辞

冬の厳しい寒さの後、桜の花がきれいに咲き始めました。市民大学のバラの木々はえんじ色の若葉が次第に大きくなってきっと素晴らしい花を咲かせてくれる予感を覚えさせてくれます。

さわやかな晴天の下、福山市北部市民大学にとってハシの入学式を迎えることが出来ました。入学式は例年北部市民センターで行っていましたが昨年从这个北部市民大学の講堂に場所を移して実施しています。会場には、来賓をお迎えして、講師の先生方と当市民大学の運営委員、学生会の役員と、今年度初めて市民大学に入学された皆さんだけのこじんまりとした式となりました。

市民大学が初めての皆さんには、市民大学の成り立ちや運営、生涯学習施設としての役割なども含め丁寧に説明しながらも、心温まる式典にしたいと思います。

先ず、当市民大学のなりたちです。一昨年度は創立 30 周年を迎えました。当時、生涯学習の機運が高まっており、福山市北部地域の住民の皆さんから「身近で気軽に学べる生涯学習の場を増やしてほしい」という熱い要望がだされました。そこで、町内会連合会長 老人クラブ連合会長 公民館長さんなどで当大学の運営委員会が組織され開校の運びとなりました。

直接運営の内容や方向性を決める運営委員会は、駅家町内の公民館長・交流館長と事務局職員で構成されています。

めったにないチャンスですから、ここで皆さんに紹介させていただきます。

最初に 駅家公民館 谷口館長です。宜山公民館 世良館長  
服部交流館 佐藤館長 駅家東公民館 中井館長 駅家西交流館 山田館長

続いて事務局職員です。日々直接皆さんのお世話をさせていただいている者です。最初に 井上副学長です。藤本事務局長。橋本事務局員。そして鶏内事務局員です。最後に私は学長の吉川信政です。どうかよろしく願いします。

学生会から、橘高会長はじめ役員の皆さんにご参加いただいています。

さて、運営委員会の決定を受けて、事実上の運営は事務局で行います。30 年前の開学当時は、教室は十分にはないし、コピー機も借り物で都合よく使えない、駐車場は狭くてみんなが置けないなど、ないない尽くしました。講師の先生方はまるで手弁当で教えてくださっていました。学生会からの中元と歳暮をお贈りする程度で教えていただくというまるでボラ

ンティアでした。今でもその伝統は生きていて、先生方にはわずかな講師料で指導に当たっていただいています。開学して数年後に福山市北部市民センターが完成したことで、この建物の活用が私どもに特別に許可されたのです。駐車場が狭いとお叱りを受けますが、私が二年前に勤めていた老人大学の混み具合に比べると随分余裕があります。これ以上増やすことは無理ですから、大学が決めたルールを守り、駐車場の当番の指示に従ってください。建物の設備もよくなっています。およそ一億五千万円をかけてエレベーターの設置をしていただき、皆さんが使用できるようになりました。脚や腰が痛い人、三階まで重い学習道具を持ちあがっている人には大変ありがたい設備となりました。

いわば、住民の熱意、講師の先生方の厚意、行政の後押し、そして地元選出の市議会議員の先生方の力があつたからこそ今の北部市民大学ができたのです。

次に新型コロナウイルス対策です。昨年度は緊急事態宣言やまん延防止措置の適用などで三度の長期の休講がありました。困難な状況の中ではありますが、歌を歌う科目はマスクをつけた状態で歌うこと、毎回体温を計ることを申し合わせたクラスもあり、大人の学ぶ場の力強さを感じました。しかし、なかなか感染は収まりません。まん延防止措置が適用された1月9日の感染者は32人、そして科目の説明会をしていた3月24日には感染者が188人になったとの発表がありました。むしろ増えているのです。福山市では39人に1人が感染している勘定になります。大人の私たちは出来れば3回のワクチン接種をうけ普段の生活では「マスクの着用 手洗いの励行 換気の実施」を心がけ家庭にも市民大学にもウイルスを持ち込まないように心がけましょう。

事務局では、職員によるアルコール消毒を行うとともに、加湿付きの空気清浄器を設置いたしました。学生会から忘れた人のためにマスクを整備するとともに、教室に除菌タオルティッシュを配置していただいています。少しでも安心していただけて安全に学習できる環境を整えています。

さて、学長として考える、生涯学習施設としての市民大学の意義です。長年の懸案だったエレベーターを設置していただけたことは、当市民大学のこれまでの取り組みを評価していただいたということとともに、これからは福山市北部の生涯学習施設として地域から必要とされる市民大学であり続けなければならない責任も生じているといえます。

さて、「人生百年時代」と言われています。全国ではおよそ八万人の百歳の方がいらっしゃいます。90歳以上は260万人にものぼり全体に占める割合は2.1%だそうです。当大学には昨年まで105歳の竹芸芸

の門田先生がおられました。11月12日まで授業をして頂きましたが、その5日後の17日に突然ご逝去されました。まさに最期まで天寿を全うされた先生ですが、百歳を越えても元気で活躍される方はまれです。駅家町の人口はおよそ3万人ですから90歳以上の方は600人以上おられることとなります。しかしわたしどもの市民大学では90歳以上の学生は2人だけです。健康で足腰に自信がある人しか勉強するために通うことはできないのでしょうか。65歳の女性が90歳生きる確率はおよそ二分の一だそうです。北部市民大学で学ぶ学生のうち60歳から69歳までの女性は201人ですから、およそ100人は90歳まで、さらに30人ぐらいは百歳まで長生きをされる計算です。

しかし、昨年度ちょうど1000人おられた学生が今年度は861人です。学生数が減ると同時に平均年齢が上がっています。同じ人が続けて受講すると同時に高齢になった人が辞めていかれます。しかし新しい人がなかなか入ってこないのです。これから定年延長がなされ六五歳が定年になると70歳まで再雇用などで仕事を続ける人が増えてまいります。しかし、気になることがあります。70歳でフリーになって何か勉強を始めようと思ってもついつい腰が重くなってしまわないのでしょうか。元気で自動車を運転して旅行などを楽しんでいる間はいいでしょう。しかし、趣味を増やすことなく近所に親しい同好の士を得ることなく年齢を重ねてしまうと、75歳から90歳位の間はどうなるのでしょうか。考えてみてください。寂しい老後を送らなくてはならなくなってしまいます。市民大学で学ぶことで生涯の趣味や特技を持つことは年齢相応の活動を助けてくれます。感性を磨き想像力を働かせ指先を動かすことだけでなく、人と交わり親しく話をするのは認知症予防になり、元気に生活する糧になります。

さらに社会的にも、重要な意味をもっていると考えています。イキイキと活動的に暮らしていけるのは個人的な問題と同じぐらいの社会的な意味合いもあります。国や自治体の財政が厳しい状況のなか、元気で過ごすことが医療費の削減につながり、私たちの子や孫の代につけを残さないこととなります。そして、高齢者の元気は子供たちが多様な価値観にふれ健全な育成にもいい影響を与えるものと考えています。

そう考えると生涯学習の拠点である私どものような市民大学の持つ役割がとても大きいものになるに違いありません。

事務局の職員は楽しく学ぶことができる場を提供し、学生の皆さんは多くの友人や知り合いなどを誘っていただくことが重要です。再度話しますが、学ぼうとする意欲は心の元気につながるでしょう。自分の好きなことや興味や関心を持つことにチャレンジすることは心の健康につなが

るに違いありません。そして同じ趣味を持った仲間を増やして日常生活を豊かにし感動ある生活を見つけていただきたいと思います。多くの感動や豊かなコミュニケーションはきっと人生に潤いを与えてくれます。このことがご自身の健康と地域の元気につながるに違いありません。

「楽しい学び つながる喜び 伝える感謝」のスローガンのもと学生の皆さんと一緒に大学づくりをしましょう。北部市民大学の活性化と皆さんの健康と発展を祈って式辞とします。

本日は 入学 誠におめでとうございます。

2022年（令和4年）4月2日

福山市北部市民大学

学長 吉川信政